

# SCC PIAM権限の問題に対するセッショントークンの取得

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[バックグラウンド情報](#)

[トークンの取得](#)

[クロム](#)

[Firefoxの場合](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、権限またはアクセスの問題のトラブルシューティングのためにWebブラウザのPIAMセッショントークンを収集する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

# バックグラウンド情報

Security Cloud Control(SCC)は、組織のサブスクリプションへの権限を管理し、アクセスレベルを決定するプラットフォームです。これらの権限を管理するアプリケーションは、Provisioning、Identity、およびAccess Management(PIAM)と呼ばれます。PIAMの目的は、1つのクレデンシャルセットを使用して、SCC内のすべての製品に対するアクセスと権限を管理することです。

Technical Assistance Center(TAC)は、PIAMの問題をトラブルシューティングするためにPIAMセッショントークンの詳細を要求できます。

## トークンの取得

トークンは、Webブラウザから次のように取得できます。

### クロム

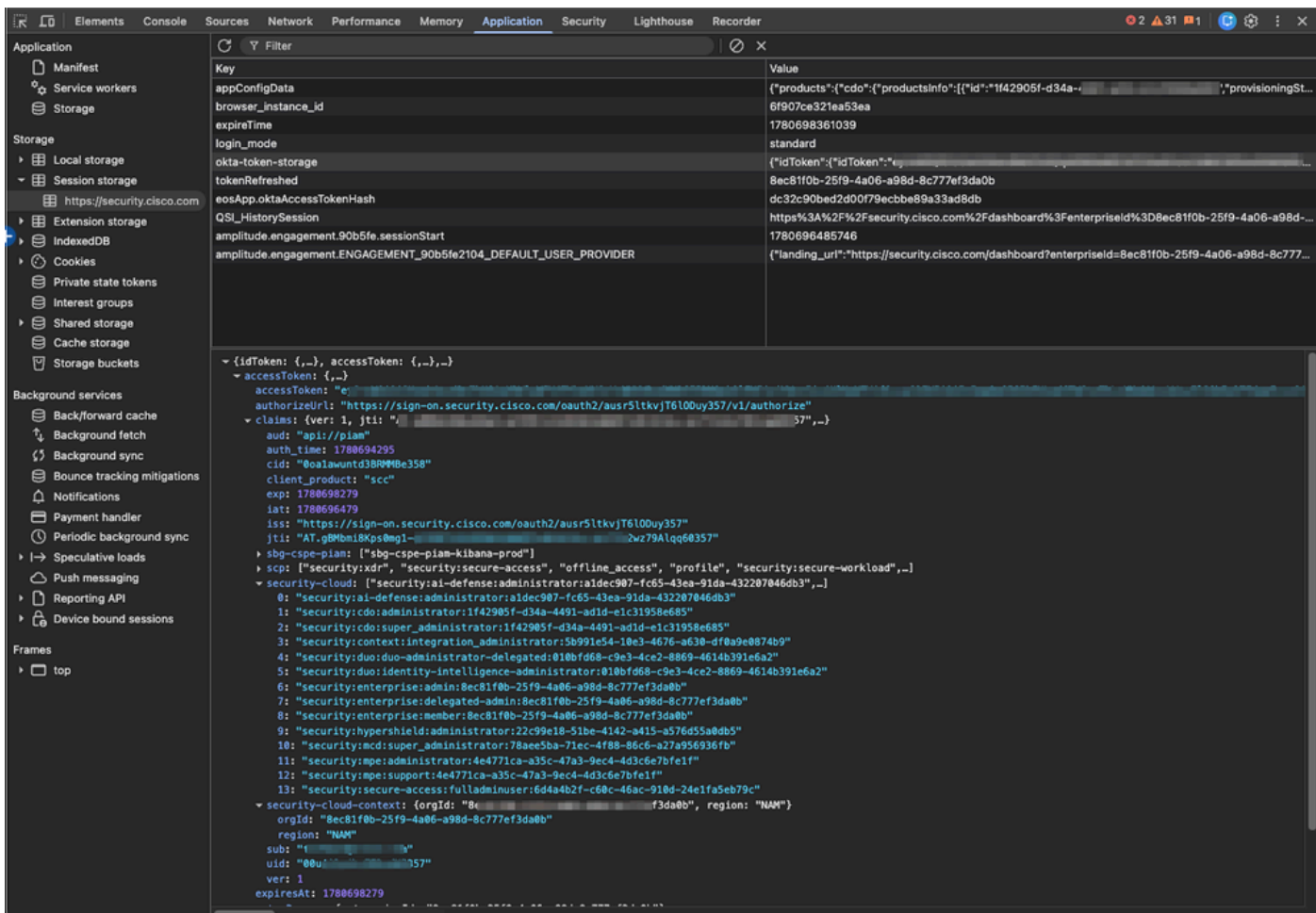
「開発者ツール」ウィンドウを開き、次の操作を行います。

1. Chromeメニューを開きます。
2. More Toolsを選択します。
3. Developer toolsを選択します。

アプリケーションのタブを移動して、Sessionトークンを見つけます。

1. [アプリケーション ( Admin Access ) ] を選択します。
2. ストレージの選択.
3. Session storageを選択します。
4. Security.cisco.comを選択します。
5. Okta token storageを選択します。
6. Access tokenを選択します。
7. Claimsを選択します。
8. Security cloudを選択します。

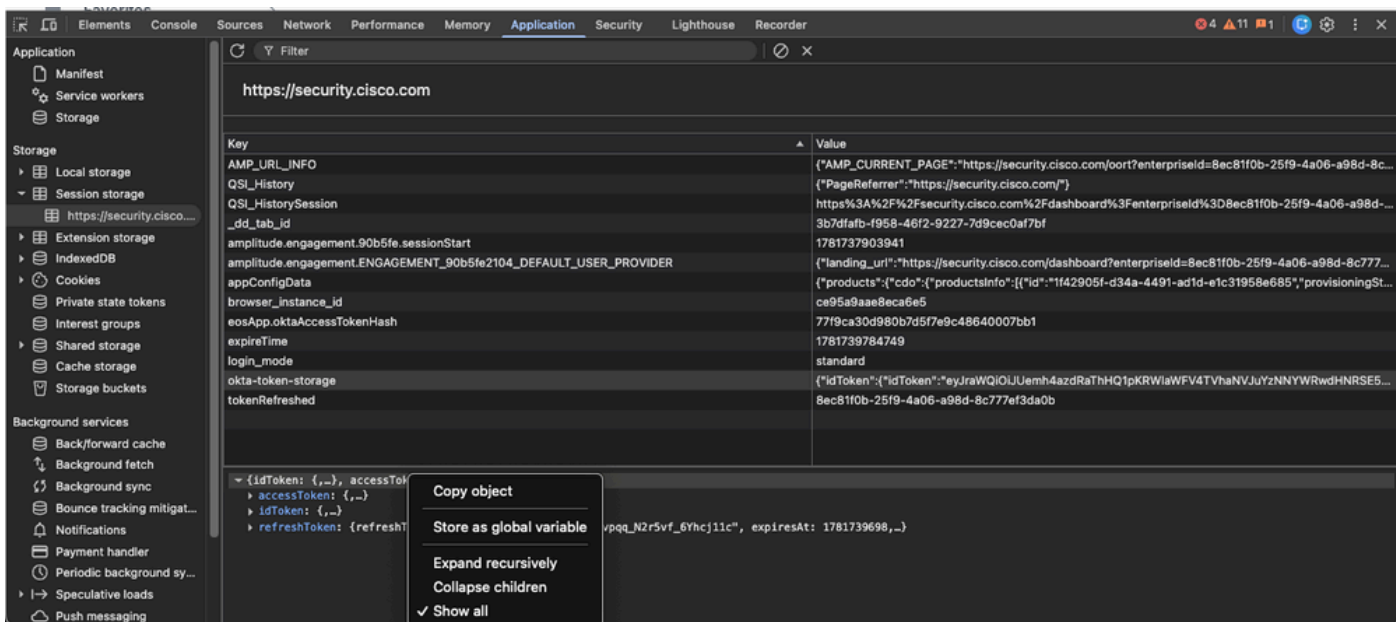
結果は、次のようになります。



## P1amトークンの詳細

valueトークンをコピーするには、次の手順に従います。

1. `{idToken: {...}, accessToken :{...},...}`を右クリックします。
2. Copy objectを選択します。



## Firefoxの場合

「開発者ツール」ウィンドウを開き、次の操作を行います。

1. Firefoxメニューを開きます。
2. More Toolsを選択します。
3. Web Developer Toolsを選択します。

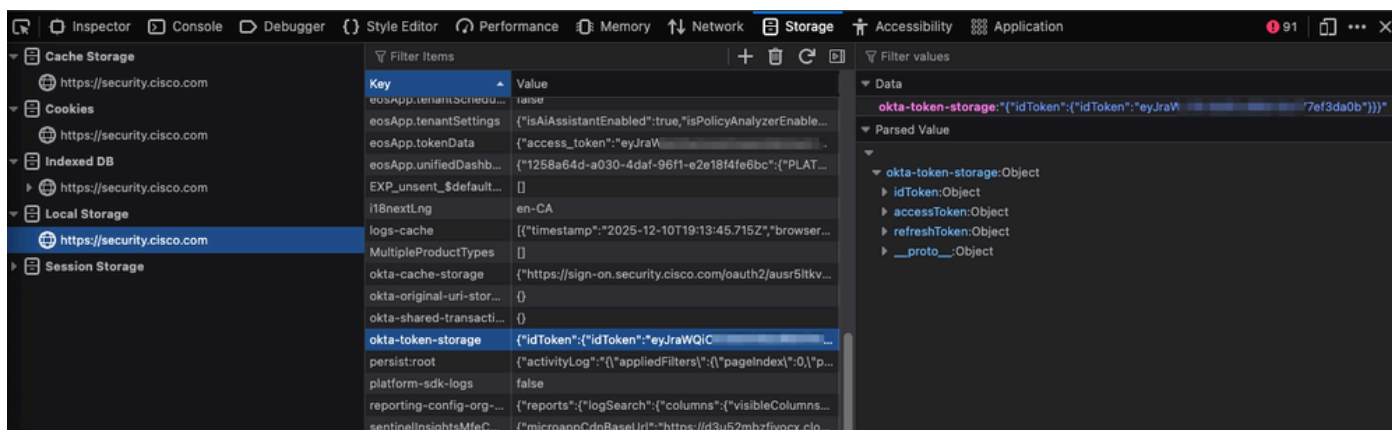
ApplicationタブでSessionトークンを探し、次の操作を行います。

1. ストレージの選択。
2. Local Storageを選択します。
3. <https://security.cisco.com>を選択します。

「品目」列で、次の操作を行います。

1. Key okta-token-storageを選択します。

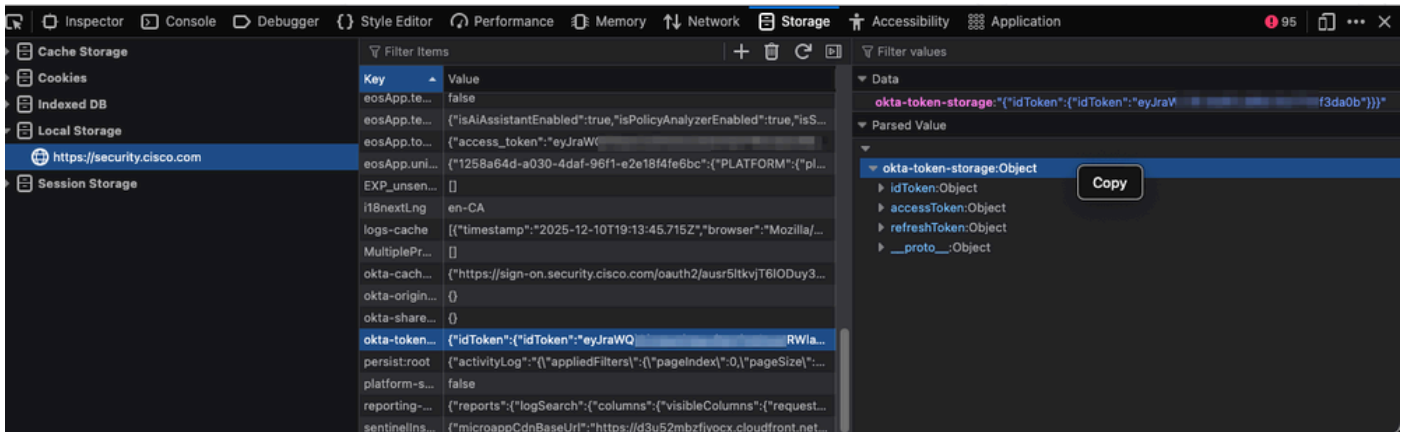
結果は、次のようになります。



firefoxトークン

Valuesカラムで、次の操作を行います。

1. okta-token-storage: Objectを右クリックします。
2. Copyを選択します。



コピーした値を貼り付け、テキストエディタで保存します。このファイルをTACケースに含めます。コピーされた値には、複数の行と値が必要です。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。